



北大阪考 枚方を中心に

関西医科大学附属病院がんセンター 学長特命准教授
佐竹 悠良

今回、縁あって職場が大阪に移ることになった。大学の6年間をはじめ、後期研修医時代からの計14年間を兵庫県で過ごしたので、久しぶりの大阪である。とは言っても、生まれも育ちも高校時代までは大阪だったので、雰囲気はわかっているつもりだ。今回の職場は枚方市であり、高槻市で生まれ育った身としては、地図上は隣の市町村なので、近畿圏、特に北摂地域出身者の例に漏れず、幼い頃にはひらかたパーク（通称：ひらパー）には通ったことがあるが、意外と知らないことが多いので、今回少し大阪は北エリアについて自分なりに調べたことを書いてみようと思う。

今回調べてみて気づいたのだが、日本を大きく分類するときには八地方区分（北海道地方、東北地方、関東地方、中部地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州地方）に一般的に分けられ、近畿地方には大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、三重県の7府県が含まれるが、広域地方計画（国が制定する行政上の基本計画区分）では、三重県は愛知県などの中部圏に含まれ、近畿圏＝関西には区分されなくなる

（他にも、山梨県は新潟、長野と同様に中部地方に分類されるが、行政政策上は首都圏扱いのようだ）（表1）。

話が少々ずれたが、大阪は奈良時代から明治初期までの日本の地理的区分の基本単位であった律令制における摂津国東部（7郡）と河内国、和泉国（図1）から構成され、ご承知の通り、都道府県としては東京都、神奈川県に次いで日本第3位の人口規模であり、人口密度は東京都に次いで日本第2位である。

「大阪」は古くは「大坂」と表記され、大きな坂があったためにそう呼ばれていたが、「坂」の字が「土に反る」や「土が反する＝武士が叛く」と読め、縁起が悪いために江戸・明治の頃から「大阪」と表記されるようになったそうだ。

織田信長と浄土真宗本願寺勢力との戦いである石山合戦後、豊臣秀吉が石山本願寺跡地に大坂城を築き、大坂の街を政治・経済の中心地とした。このため、豊臣政権期を「大坂時代」と呼び、大阪府の府章は豊臣秀吉の旗印である「千成びょうたん」を図案化したものであり、OSAKAの「O」を基礎に希望・繁栄・調和

を3つの円で表している（図2）。「大坂夏の陣」で大坂は荒廃したが、江戸幕府は味方の大名が乏しい西国への睨みをきかせる要所として大坂城を再建し、海運に不利な幕府のある江戸よりも、古くから海運の要であった大坂を復興させ、経済・商業の中心地として扱ったため、「天下の台所」と呼ばれるようになった。全国から食材が集まる「天下の台所」であり、瀬戸内海の家産物にも恵まれ、「食い倒れの大阪＝大阪人は破産するほど飲食に金を費やす。もしくは、大阪には食べきれないほど美味しいものが沢山ある」といわれる所以である。

枚方をはじめとする大阪のエリアは、元「北河内」と呼ばれる地域であり、律令制でいうところの「河内国」（図1-35）の北部に由来する。現在の大阪府の北東部にあたり、淀川左岸（下流に向かって左側）、北は京都、東は奈良に接するエリアである。平安時代には貴族の遊獵地として知られ、古くから大阪-京都、大阪-奈良、京都-高野山を結ぶ中継地として栄え、枚方市、守口市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市が含まれる。枚方

表1 地域区分

八地方区分	広域	その他	都道府県			
近畿地方	近畿圏	関西	大阪府	京都府	兵庫県	和歌山県 奈良県
	中部圏	東海	三重県			

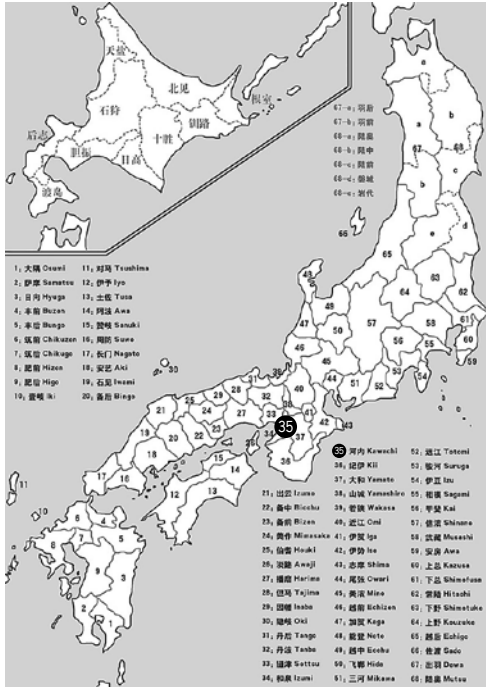


図1 律令制による全国区分

Copyright : wikiwikiyarou. License : CC BY-SA 3.0 (https://ja.wikipedia.org/wiki/令制国) 図の一部を加工

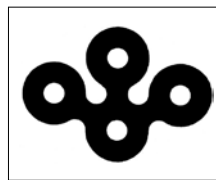


図2 千成びょうたんと大阪府の府章

市は「法定人口が20万人以上」である「中核市」(表2)であり、人口40万人。大阪市、堺市、東大阪市に次いで大阪府下第4位の人口を擁する。先に触れたように、京都府・奈良県との府県境に位置し、江戸時代には京街道の宿場町として栄え、琵琶湖から流れ出る唯一の河川である淀川の左岸に位置する。ちなみに淀川は滋賀県大津市で琵琶湖から流れ出る。ここでは瀬田川と呼ばれ、京都府に入ると宇治川と名前を変え、大阪府に入るところで桂川、

木津川と合流し、それ以降は淀川と呼ばれ、大阪湾に注ぐ(図3)。

枚方市は「都心に比較的近く、鉄道交通網が発達している」ことから、バブル期にはベッドタウン化により1950 - 1970年代にかけて急激に人口が増加した。また、ツタヤ書店の1号店も枚方発祥である。街のシンボルである「ひらかたパーク(ひらパー)」は大正元年(1912年)に開園した遊園地であり、「浅草花やしき」が嘉永6年(1853年)に開園しているが、第二次世界大戦

表2 日本の中核市

地方	都道府県	中核市
北海道地方	北海道	旭川市
		函館市
東北地方	青森県	青森市
		八戸市
	岩手県	盛岡市
		秋田市
	福島県	郡山市
福島市		
関東地方	栃木県	宇都宮市
		前橋市
	群馬県	高崎市
		川越市
	埼玉県	越谷市
川口市		
千葉県	船橋市	
	柏市	
神奈川県	横浜賀市	
	横須賀市	
中部地方	富山県	富山市
		金沢市
	石川県	長野市
		岐阜市
	岐阜県	岐阜市
		愛知県
豊橋市	豊橋市	
	岡崎市	岡崎市
近畿地方	大阪府	高槻市
		東大阪市
		豊中市
		枚方市
		八尾市
	姫路市	
兵庫県	西宮市	
	尼崎市	
奈良県	奈良市	
	和歌山県	和歌山市
中国地方	鳥取県	鳥取市
	島根県	松江市
	岡山県	倉敷市
	広島県	福山市
山口県	下関市	
	下関市	
四国地方	愛媛県	松山市
	高知県	高知市
九州地方	福岡県	久留米市
		長崎市
	長崎県	佐世保市
	大分県	大分市
	宮崎県	宮崎市
鹿児島県	鹿児島市	
沖縄県	那覇市	

の影響で一度「浅草花やしき」は取り壊され、昭和22年(1947年)に復活していることを考慮すると、「ひらかたパーク」は断絶なく現在まで営業を継続している日本最古の遊園地といえるかもしれない。関西では「USJ:ユニバーサルスタジオジャパン」に次いで入場者数が多く、テレビCMに登場する「ひらパー兄さん:初代(ブラックマヨネーズ小杉竜一)、スーパーひらパー兄さん(V6 岡田准一)」「いずれも推定)も人気である。

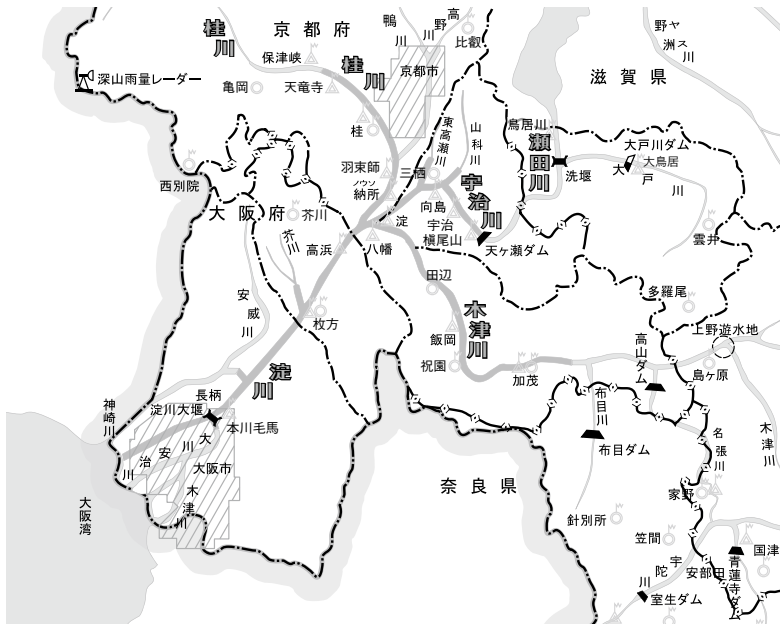


図3 淀川水系
 出典：国土交通省近畿地方整備局ホームページ。図の一部を加工
<https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kasen/qgl8vl0000006o7-att/loc-yodogwa.pdf>

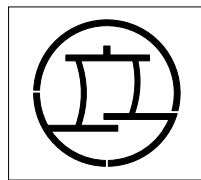
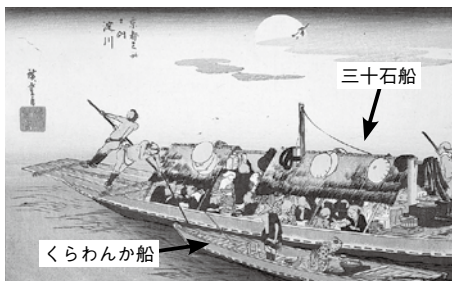


図4 三十石船、くらわんか舟と枚方市章
 左：京都名所之内 淀川（国立国会図書館ホームページより転載）

枚方市は淀川とともに栄えてきた街であり、船と深いつながりがあり、市章はカタカナの「ヒ」「ラ」と漢字の「方」を組み合わせて、三十石船（さんじっこくぶね：米を三十石積めることに由来）を象っている（図4）。枚方以南は淀川の川幅が広くなり、三十石船の往来も多く、必然的に乗船していた旅人を対象とした商売も活発になったようだ。枚方を中心に、三十石船に対して餅や酒などを販売していた小舟は、「餅くらわんか〜 酒くらわんか〜」

と汚い言葉で食べ物を売りに来たことから有名となり、「くらわんか舟」と呼ばれた。「くらわんか舟」が汚い言葉で悪態を吐くのは、「大阪夏の陣」で家康が真田幸村に追い詰められたのを助けた恩賞に、武士に対して地言葉で商いをしても良いと許可をしたという説と、この地方では古くから悪霊を追い払うのに悪態を吐くという風習があり、旅の安全を願う意味で使われ、旅人に大変喜ばれたという説があるようだ。そういえば、普段診る患者さんとの言葉遣

いは、これまでの日常で出会った関西弁・大阪弁よりもフレンドリーな気がするの気のせいではないのかもしれない。

今回、新しい職場である枚方を中心に北大阪エリア＝北河内について、思いつくままに考察してみた。まだ、異動後後間もないため、今後の新しい発見が楽しみである。